

創立百周年を迎えるにあたって

PTA会長 池田正人

来年創立百周年を迎えるにあたり、同窓会として記念事業実行委員会が設置され、同窓生名簿の作成や記念式典、記念事業の実施に向けて、着々と準備がなされていることをお聞きしております。

後輩たちの学び舎である校舎のなかに、落ち着いて自習できる 自習室兼多目的教室の整備や、備品の整備、また記念式典の実施に向けて、会員の皆様方から多くのご寄付を賜ればとお願いする次第です。

百周年記念事業が成功裏に運営できますように、同窓会員の皆様方のご理解とご援助をお願い申し上げます。

以下に本年度のPTA活動についてご報告申し上げます。

本年度のPTA事業は弥生祭でのPTA主催バザー、生徒、学校関係者、父兄協同で行った環境整備また競歩大会での豚汁サービスを新たな事業として取り入れてまいりました。

これは他校のPTA役員の方々との情報交換をする中で、生徒、学校関係者、PTA会員の3者参加型の事業がなかったことから、先生方、本部役員で検討し会員の皆様のご了承を得て実施をいたしました。

期中での事業追加でもあり予算捻出は、バザーの収益を環境整備の消耗品購入と豚汁の材料費に振り分け、不足分は、先生方、役員、会員の皆様のご協力により賄い、大勢の方々のご参加により満足する成果を得ることができました。

環境整備では先生方による材料準備をはじめ、生徒会役員、会員の大勢の皆様に参加いただき、渡り廊下のペンキ塗り、グラウンド整備等、広範囲に渡る補修整備を実施することができました。

競歩大会での豚汁サービスは上伊那地区9校で唯一未実施であった当校も、会員の皆様、上伊那農業高校PTA役員の方々のご協力により、やっと他校と肩を並べることができました。豚汁サービスは生徒、先生方、会員の皆様にも大変好評でありました。また、上伊那農業高校PTA様には、釜などの器具をお借りするとともに、調理方法も伝授

いただくなど大変お世話になりました。

新たに実施した事業はどれも大変満足のいく結果を得ることができ、計画した私達も大変うれしく思っております。

今後のPTA活動は生徒、学校関係者、会員が大勢参加することができる、出会いの場を数多く設けられる様な事業を立案・実施して参りたいと考えています。

同窓会員の皆様にも、バザーへの供出品や豚汁サービスでの食材や調理器具のご提供などにご協力いただければ、生徒、学校関係者、PTA、同窓会の4者が触れ合った他校に誇れる共同事業の展開が実現できると思います。

PTA、学校側との連携体制の構築や創立百周年記念事業実施に向けて同窓会組織の更なる機能の充実を期待しております。

以上